

食物アレルギー負荷試験で入院される患者さんへ

お名前

主治医

担当医

	検査前（ / ）	検査中・検査後（ / ）	退院日（ / ）
目標	・入院の経過がわかる。	・異常時の対応の仕方が分かる。	・退院ができる。
処置・点滴	・入院時に体温・脈拍・血圧を測り全身状態をみます。	・負荷試験中は定期的に血圧等を測定し全身状態の観察を行います。 ・必要時酸素投与を行います。	
説明・指導	・看護師から入院時オリエンテーションがあります。	・発赤、発疹、蕁麻疹、咳、喘鳴、呼吸苦、腹痛、下痢などのアレルギー症状が起こる可能性があります。機嫌が悪くなったり、気分が悪くなったり、腹痛や吐き気や嘔吐、蕁麻疹などのアレルギー症状が出たらすみやかに教えてく	・医師から退院後の生活について医師説明があり、看護師から退院後の注意事項について説明があります。
トイレ・安静	特に制限はありません。		
食事	検査後、医師の許可がでたら食事ができます。 病院での食事の提供ができないため、各自でご用意してください。 ※帰宅後に自宅で食べていただいてもかまいません。		
清潔	・症状がなければ検査後から入浴ができます。（浴室使用時間平日13時～17時まで 休日9時～17時まで）		

*** 付き添いの方は1人をお願いします**

*** きょうだいの付き添いはできません**

*** お子様の付き添いをされる方へのお願い ***

ベッド転落を防止するため、お子様から一瞬でも目を離される時は、ベッド柵を一番上まで上げて下さい。

付き添いを交代される場合には、以下のことを必ず次の方にお伝え下さい。分からないときには、看護師まで声をかけて下さい。

・お子様から目を離すときにはベッド柵を一番上まで上げておくこと ・お子様の現在の安静度